

8

記録データの出力

記録したデータの確認と出力をおこないます。

出力したデータファイルが、Windows のエクスプローラーで表示されない場合は

以下の操作をお試しください。

- ・ エクスプローラーで「最新の情報に更新」をおこなう。（F5キー押下）
- ・ USBケーブルを一旦抜いて差し直す。
- ・ 端末（スマートフォン）を再起動する。

8-1 記録したデータを確認する

測設・観測・3D施工で記録したデータ（座標）を確認します。

- ① ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。
- ② [測設データ]
[観測データ]
[3D施工データ]
の各ボタンをタップして、記録
したデータを確認します。



[測設データ]

戻る		測設データ管理
		検索
点名	X/Y/Z座標	
SZ-端点	99.902	
	99.997 ▾ 5.400	
SR-N0.2R	99.502	
	100.802 ▾ 5.158	

[観測データ]

戻る		観測データ管理
		検索
点名	X/Y/Z座標	
KO-No.2-1	99.360	
	100.799 ▾ 4.993	
KO-No.2-2	99.585	
	100.804 ▾ 5.202	
KO-No.2-3	99.667	
	100.795 ▾ 5.004	

[3D施工データ]

戻る		3D施工データ管理
		検索
点名	X/Y/Z座標	
ST-N0. 2+0.005-1	99.606	
	100.805 ▾ 4.993	
ST-N0. 1+0.004-1	99.911	
	100.404 ▾ 5.401	
ST-N0. 0+0.398-1	99.926	
	100.398 ▾ 5.410	

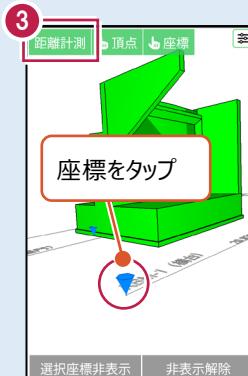
TIN の頂点と計測した座標の距離を確認する場合は

[データ管理] -

[座標データ] の [3D] を
タップします。



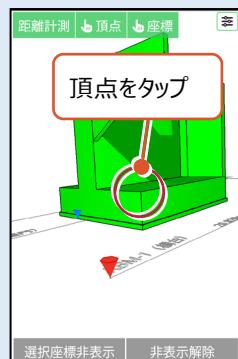
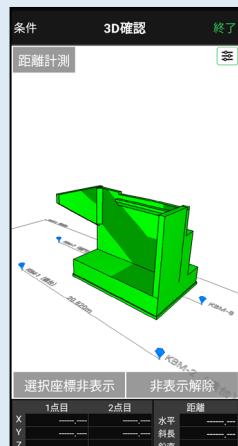
防)	215.000
□ KBM-4 (砂 防)	4.972
	-27.558
	215.000
□ KBM-5 (砂 防)	4.824
	28.555
	215.000
X Y Z	平面 3D
+ - X Y Z	交点計算 追加 削除 取込



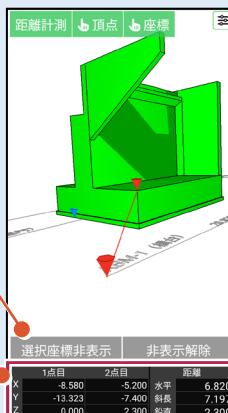
[距離計測] をタップして、計測
する2点（頂点または座標）を
選択します。

[頂点] ボタンがオンの時は頂点
がタップできます。

[座標] ボタンがオンの時は座標
がタップできます。



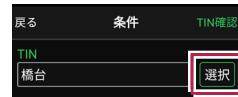
タップした2点が赤色で表示され、
距離が確認できます。



[選択座標非表示] で
表示が不要な座標を非表示
にしておくこともできます。

1点目、2点目の座標値
と、水平距離、斜長、鉛直
距離が確認できます。

左上の「条件」で
TINを切り替えます。



8-2 座標データ（SIMA）を出力する

現場データ内の座標データを、SIMA形式で出力します。

- 1 ホーム画面の [データ管理] をタップします。
- 2 [データ出力] をタップします。



- 3 [座標（SIMA）] を選択して [次へ] をタップします。
- 4 現場データ内の座標データをすべて出力する場合は [全て] を選択して [次へ] をタップします。



座標データを CSV 形式で出力する場合は

データ出力で [座標（CSV）] または [座標（CSV：末尾コンマ付）] を選択して [次へ] をタップします。出力されるのは、以下の項目です。

- ・座標（CSV） … 点名, X座標, Y座標, Z座標, 属性, 計測日時, 目標点名, 目標X座標, 目標Y座標, 目標Z座標, 差（水平距離）, 差（鉛直距離）, 差（斜距離）
- ・座標（CSV：末尾コンマ付） … 点名, X座標, Y座標, Z座標,

※座標値の丸めは「現場共通設定」 - 「桁設定」の「X/Y座標」「Z座標」の丸めを使用します。（[座標（SIMA）] も同様。）

※差は単位mmで出力します。

- ⑤ 端末内のフォルダーに出力する場合は、
[指定フォルダー] を選択して [次へ] をタップします。

- ⑥ ファイル名を指定して
[実行] をタップします。

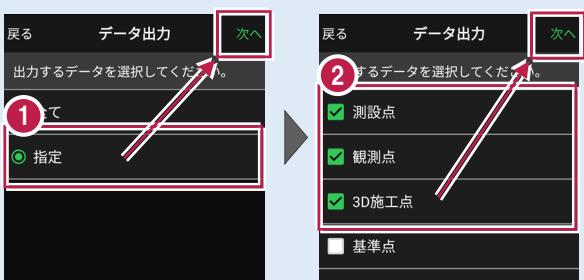
Import_Exportフォルダーに座標データが出力されます。



座標データを選択して出力する場合は

- [指定] を選択して
[次へ] をタップします。

出力する座標データの属性の
チェックをオンにして [次へ] を
タップします。

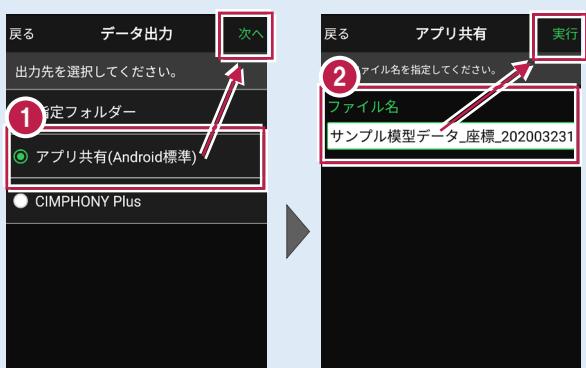


アプリ共有（クラウドストレージやメールなど）に出力する場合は

- [アプリ共有] を選択して
[次へ] をタップします。

ファイル名を指定して
[実行] をタップします。

出力先（共有先）のアプリを
指定すると座標データが出力
されます。



8-3 横断現況データ（SIMA）を出力する

現場データ内の横断データを、横断SIMA形式で出力します。

出力されるのは、[観測] – [横断放射] で観測した横断データです。

- 1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。



- 2 [データ出力] をタップ
します。



- 3 [横断現況（SIMA）] を選択して [次へ] をタップします。



- 4 端末内のフォルダーに出力する場合は、
[指定フォルダー] を選択して [次へ] をタップします。



- 5 ファイル名を指定して
[実行] をタップします。



Import_Exportフォルダーに横断現況データが出力されます。

8-4 出来形計測データ（XML）を出力する

現場データ内の出来形計測データを、XML形式で出力します。

出力されるのは、[3D施工] – [出来形計測] で観測した出来形計測データです。

- 1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。



- 2 [データ出力] をタップ
します。



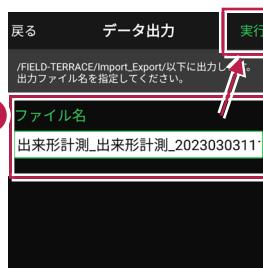
- 3 [出来形計測] を選択
して [次へ] をタップします。



- 4 端末内のフォルダーに出力
する場合は、
[指定フォルダー] を選択
して [次へ] をタップします。



- 5 ファイル名を指定して
[実行] をタップします。



Import_Exportフォルダー
に出来形計測データが出力
されます。

8-5 簡易TINデータ（LandXML）を出力する

現場データ内の簡易TINデータを、LandXML形式で出力します。

出力されるのは、[設計管理] – [TINデータ] で作成した簡易TINデータです。

- ① ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。



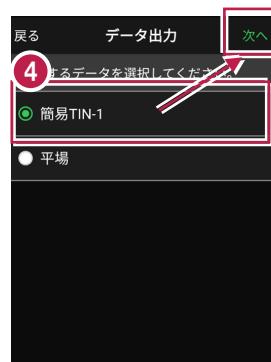
- ② [データ出力] をタップ
します。



- ③ [簡易TIN（LandXML）]
を選択して [次へ] をタップ
します。



- ④ 出力する簡易TINを選択
して [次へ] をタップします。



- ⑤ 端末内のフォルダーに出力
する場合は、
[指定フォルダー] を選択
して [次へ] をタップします。



- ⑥ ファイル名を指定して
[実行] をタップします。



Import_Exportフォルダー
に簡易TINデータが出力さ
れます。

8-6 現場データ（FTZ、FTZS）を出力する

FIELD-TERRACEオリジナルの現場データ（FTZ、FTZSファイル）を出力します。

FTZ、FTZS ファイルを他プログラムで読み込むことはできません

FTZ、FTZSファイルは、他のスマートフォンのFIELD-TERRACEとの現場データの受け渡しなどに使用します。EX-TREND武蔵など他プログラムで読み込むことはできません。

- ① ホーム画面の【メニュー】をタップします。



- ② 【現場 切り替え】をタップします。



- ③ 【出力】をタップします。



- ④ 出力する現場を選択して【次へ】をタップします。



- ⑤ 端末内のフォルダーに出力する場合は、【指定フォルダー】を選択して【次へ】をタップします。



Import_Exportフォルダーに現場データ（FTZまたはFTZS）が出力されます。

拡張子は選択した現場が1つの場合はFTZ、複数の場合はFTZSになります。

